

各 位

2022年6月15日

株式会社リットーミュージック

悪魔の最新音源が発売決定！

聖飢魔II 23年ぶりとなる書き下ろしオリジナル大教典が発布！



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『METAL HAMMER JAPAN Vol.10』を、2022年6月15日に発売します。

JAMES LABRIE

INTERVIEW
Interview by Takahiro "HUNTER" Okami
Translation by Tomomi Murayama
Photo by Nodan Matsuoka (P.21), Thomas Römer (P.21-22)

James LaBrie

ドリーム・シアターのフロントマンが
9年ぶりのソロ作をリリース。
バンドとは雰囲気をガラリと変えた
アコースティカルな一枚に。

まる4月には、ドリーム・シアターとして念願のグラミーを受賞し、来る『DOWNLOAD JAPAN 2022』にてメイン・アクトとして久しぶりの日本公演を控へ……など、活動を盛んに欠かさない彼らであるが、そのフロントマン、ジェイムズ・ラブリエは、さらに9年ぶりのソロ・アルバムをドップ。本作はドリーム・シアターとも過去のソロ作とともに一枚を出す、アコースティックな曲調を軸としたメロディ溢れる一枚となった。コロナ禍に作成を始めた本作に、彼はどのようなメッセージを込めたのか。

(ヒューティフル・シネマトイド・グレイ
— 3CD+2DVD)

24 METAL HAMMER JAPAN

MEGADETH

The Metal Hammer UK
Interview by Terry "Mafia" Kelly
Photo by Matt Winkler (P.30)

SURVIVAL IN INSTINCTS

「破滅へのカウントダウン」に刻まれた“生存への本能”

新作のリリースと同時に控え、これまでに発表した15枚ものスタジオ・アルバムのどれもで最高水準のスラッシュ・メタルを展開しているメガデスだが、やはり最も知名度、そして人気の高い作品と言えば、1992年にロングセラード「破滅へのカウントダウン」だろう。ロックシーン世代交代過渡期のアルバムであるが、本作があるからこそ、メガデスは今や多くの原皮の人気だけ、そして新たなスラッシュ・メロディーが飛ばされているとも言えるのだ。リリースから30年が経過した今、ダイヴィッド・スティーンのときとともに、宿命へのカウントダウンを取り巻いた状況を見つめ直してみたい。

METAL HAMMER JAPAN 31



INTERVIEWERS
ROBB FLYNN
MARTEN HAGSTRÖM

MUSICIAN X MUSICIAN
INTERVIEW-1

MESHUGGAH

Mårten Hagström
Robb Flynn

トップ・ミュージシャンによるトップ・ミュージシャンへのインタビューである本スペシャル対談企画。まずはマーシュ・ハットのロブ・フリッジによる、メッシュガーハーのマルテン・ハグストロムとのインタビューをお届けしよう。

マルテンが加入して多くのツアーにて共演した2バンドであり、今では心の知れたギリスト同士でもあるふたり、今回は先輩であるロブが、マルテンのミュージガーこれまでの道のり、そして来年ソアへの出来事について話を握ってくれた。

90 METAL HAMMER JAPAN

"IT RIPPED MY FACE OFF"

スウェーデン出身のメッシュガーハー、

本物のテクニカル・メタルの始祖

などと評される彼らが、ついに日本

で開催する初の公演を前に、前回に

取材されたときと並んで、前回に答えて

いた質問に対する回答を改めて聞かれていた。そのとおり、トマスはトキ

ヒルに驚いていた。

「去年のうち何時かお会いした?

マルテン： まだだよな。同じく学ぶ

所で、一緒に音楽をやっていた

間も、彼が他のヘヴィ・ミュージックの

現存者達に迷っていた。

重ねさせても「ジンジャー」を発明したこと

に加え、彼のDNAは現代のスタイル

にはまだなくて納得されている。

マルテン： リラックスしたのではなくて、

誰かがソリッドのプロトタイプをもじ

て、誰かがソリッドのプロトタイプをもじ

る。それがソリッドのプロトタイプ

の「Inferno」の歌詞でも1994年の

EP「Inferno」の歌詞から現存者

達が、彼をヨーロッパ・シアへと

導きさせた。

9枚目のアルバム「Innervate」のリ

リース曲の中に登場する、ロブとメ

ガーハーのギタリスト、マルテン・ハグ

ストロムの両親には、驚くなく現存者

お互いへのリスク感が伺えていた。

そして、マルテン「Innervate」のカ

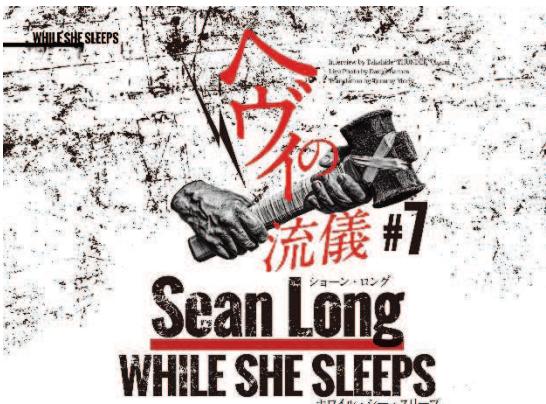
シングルがそれと同時にリリースさ

れていた。彼がソリッドのプロト

タイプを再び見せた。

マルテン： それからこのバンド、こ

の結果、……たぶんシンドレバード、こ



毎回、楽曲に込めたヘヴィ・サウンドへの考えについて話を聞く本コーナー。今回はメタルコア・シーンにくらべつつも、多岐なギター・アフローネで魅了のある楽曲を題かせ大きな人気を得ているホワイエル・シー・スリーフより、ギタリストのショーン・ロックが登場だ。最近ではシャーベルからシグネイチャーモデルもリリースした彼だが、末路には楽曲をヘヴィにするためにどのようなこだわりを注ぎ込んだのだろうか?

We're exaggerating emotions to make it powerful.

自分たちのエモーションを過剰に表現した結果、それが激しさにつながっている。

メタルコアと思われるよりも、同時に音楽を作っていると思われたら、パンクほどではない18年位のシカリアを描んできました。結婚前はハック界のスタイルでもあったのですが、当時担当していたバンドとは? 現在は自分が近いところを影響

受けけて、それを本当にオウンドで持つているんでしょう。どうやら結構コバヤク風に音楽を作っている感じですね。ナラティブ的な要素が入る過程で、どのような結果や影響が生まれたのでしょうか?

どうなりターニング・ポイント? なんかも、ずっとさがっかんがんばって、自分の音楽に「最高」と言えて実現させたり、納得いかないといつてもう一度

36 METAL HAMMER JAPAN



WHILE SHE SLEEPS

アカントアワードデビュー30周年
二大金賞
2017

LET'S TALK METAL!

アウトレイジ
(丹下真也・阿蘭洋介)

秋田草郎 岡陽介
(俳優)

+ 山田貴教 & あんど慶周
(映画監督)

本5月に公演がスタートした、アウトレイジを題材にした新作「調合色の恋の能力」について。本当にアウトレイジのドラマソニタリーではなく、「アウトレイジのストーリーを描く映画」を上演することにならざるを得ない状況を「主張」とし大音楽系エンターテインメント作品であり、ここでアソベー役を演じたとき俳優たちにとっても、約半世紀近く、当時「マイメタル」には、片寄り過ぎの位置にある者だったぞ。

しかし、芸能が進むとともにその印象感はグッと強まり、メタルという音楽に魅了されていったそう。「 videotape ではない彼らの『メタルバー』としてアウトレイジのどういったところに魅了を感じたのだろうか。今日は丹下と阿蘭の「ご本人」と、秋田もまたお手本様に加え、山田監督とバンドを高校時代から知るあんどに本作に割まれたメタルのカッコよき(+冬吉の歌)を語ってもらつた。

出所・脚本: まきみ・タカヒロ

42 METAL HAMMER JAPAN



METAL HAMMER JAPAN 43



ヘヴィ&ラウド系
ミュージシャンに聞く

コロナ禍での 音楽活動とは どういったもの だったのか?

METAL HAMMER JAPAN 81

NEW
NOISE
DELUXE

Introducing New Noise Bands from around the world!

4人組アイドルによる エクストリーム・ラウド・サウンド! BROKEN BY THE SCREAM

BROKEN BY THE SCREAM

本誌記者のなかに、彼女たち……高橋馬アヤメ、野月平イオ、雲林院カグラ、七夕
霧ソルキによるアイドルユニット「Broken By The Scream(BBTSC)」を知っている人はどれくらいいるだろうか。2名のテス・ヴァイスと2名のクリーン・ヴォイスを
混合したエクストリーム・ミュージックを放つ、異彩の4人組だ。

近年は「激ロック」を武器に大会場をフルハウスにする女性グループも少なくない
が、彼女たちはそこに俺をかけて過激なサウンドを魅かせる。まさに「ラウド系」の
アイドルなのだ。そんなBBTSCは、来る7月にリリースする3rdアルバム「RISE into
CHAOS」にて、いよいよ大きく羽ばたこうとしている。――

ある意味「異形」として見られるかななスタイルではあるが、メタルシーンにおいては、のちの大物も当初は異端として扱われていたりと、しばしば偏僻地の大逆
転が起てるの。常に過激かつ衝撃的な音楽を奏しているアンテナの高いラウド・
ミーティング・ファン諸兄は、ぜひラインナップとともに、彼女たちの喫律・音楽
に触れてみてほしい。好きか嫌いかを判断するのはそのあとだ。

METAL HAMMER JAPAN 105



■書誌情報

書名：METAL HAMMER JAPAN Vol.10

定価：本体 1,600 円 + 税

発売：2022 年 6 月 15 日

発行：リットーミュージック

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/magazine/detail/3122238001/>

CONTENTS

●聖飢魔 II

魔暦 22 年（2020 年）に地球デビュー 35 年を迎える、当コロナ禍においても精力的な期間限定再集結活動を行なっている聖飢魔 II。本邦にヘヴィメタルを根付かせたとも言える悪魔たちが、なんと本年、23 年ぶりに“書き下ろし”となるオリジナル大教典をリリースすることになった！

8 月にカセット・テープとして先行発布され、その後 9 月に改めて CD としてドロップされる本作。しかし、今はまだ新曲の概要は発表されていない。そこで METAL HAMMER JAPAN はデーモン閣下のもとへ赴き、どこよりも早く、その内容について聞いてきたのだった。

インタビューでは、昨年から約 3 カ月にわたり行なわれた《ヴィデオ黒ミサ・ツアーア》について、コロナ禍での音楽制作について、そして鋭意制作中だという大教典についてじっくりと語ってくれた閣下。迫力 & 威厳に充ちた貴重な撮り下ろし写真も必見だ！

特集後半ではルーク竜参謀、ジェイル大橋代官も登場！ 両名とも自身が関わる楽曲について語ってくれているので、こちらも見逃すわけにはいかない。もう数カ月先となる最新大教典まで、本インタビューを読んでワクワク & ゾクゾクしていただきたい！

□スペシャル付録：デーモン閣下オリジナル両面ポスター

* *

●メガデス

新譜リリース間近！……と噂が聞こえてくるメガデス。彼らの“最高位チャート作品”と言えば、30年前の1992年にリリースされた『破滅へのカウントダウン』だ。ライヴでは今も重要な位置でプレイされる本作楽曲群であるが、同作制作時の心情を、デイヴ・ムステインを始めとしたメンバー、関係者、影響を受けたミュージシャンが振り返る。

* *

●ジェイムズ・ラブリエ

この夏、ついに海外ミュージシャンが集結するラウド系フェス《DOWNLOAD JAPAN 2022》が開催！ そのヘッドライナーを務めるのがドリーム・シアターだ。先にはグラミーも受賞した彼らだが、そのシンガーであるジェイムズ・ラブリエはソロ・アルバムもリリースとエネルギー満タン。同ソロ作についてはもちろん、グラミー、そして久しぶりの日本公演に向けていろいろと話してくれたぞ。

* *

●アウトレイジ

今年デビュー35周年を迎える、 “オリジナル・ストーリー映画”、“オーケストラとの共演”と、これまでにない試みを見せたアウトレイジを二大特集でピックアップ！ 前半は<メンバー×俳優×監督×漫画家>での座談会で、映画を主軸にメタル、青春、そして名古屋について語り明かす！ 後半は共演ライヴでのオーケストラを指揮した柴田祥氏に、クラシック側からの見解を聞く。

* *

●メッシュガーバー×マシーン・ヘッド

ミュージシャン自身がインタビュアーとなり、交流のあるミュージシャンから話を聞く本企画。まずはマシーン・ヘッドのロブ・フリンが、若き時代にツアーのサポートを務めたメッシュガーバーのマルテン・ハグストロムとトーク・セッション。バンド加入から一緒に回ったツアーまで、旧知の仲だからこそ語り合える話題は興味深いものばかり！

* *

●キルスウィッチ・エンゲイジ×エンプロイド・トゥ・サーヴ

続いての“ミュージシャンによるミュージシャンへのインタビュー”は、メタルコアの王者キルスウィッチ・エンゲイジのジェシー・リーチとアダム・デュトキエヴィッチに、彼らから多大なる影響を受けたエンプロイド・トゥ・サーヴのシンガー、ジャスティーヌ・ジョーンズが突撃！KSEの活躍をリアルタイムで体感してきた彼女ならではの質問が、ふたりの本音をグイグイと引き出す！

* *

●ホワイル・シー・スリーピス

ミュージシャンそれぞれが持つ“ヘヴィ・サウンドに対する考え方”を聞いていく当連載。今回はパンク・ロックをルーツにしつつ、今やアリーナ級のバンドにまで上り詰めたメタルコア・バンド、ホワイル・シー・スリーピスだ。バンドの音楽的中心人物であるショーン・ロングが、強烈な音作りの要となるシャーベル製シグネイチャー・ギターに込めたこだわりとは？

* *

●緊急アンケート企画

ヘヴィ＆ラウド系ミュージシャンに聞く コロナ禍での音楽活動とはどういったものだったのか？

ワクチンの普及も進み、徐々に日常へと戻り始めた日本。ライヴの開催も増え、以前のような活気を取り戻しつつあるミュージック・シーンではあるが、そんな今日まで、ミュージシャンたちはどのような想いでコロナ禍での音楽活動を行なってきたのだろうか？ ラウド＆ヘヴィ系ミュージシャンに、それぞれの考えを聞く。

[ラウドネス／アウトレイジ／筋肉少女帯／人間椅子／陰陽座／Crossfaith／BAND-MAID／ガルネリウス／NEMOPHILA／Damian Hamada's Creatures／FATE GEAR／NOCTURNAL BLOODLUST]

* *

●特集①

The Devil Lurks in Music ヘヴィメタルに潜む悪魔の囁き

ヘヴィメタル各スタイルにおいて欠かせないキーワード、それは“悪魔”だ。特に本場である欧米のバンドは、パワー・メタルからブラック・メタルに至るまで、サブ・ジャンルを問わずさまざまなかたちで悪魔が登場する。そしてその立ち位置は、本邦の感覚とはまた異なるものである。本

特集では、音楽と悪魔の関係をルーツをさかのぼりながら見ていきたい。キミのなかの悪魔が目覚める！

* *

●特集②

アナログ派？ デジタル派？ メタルはどのメディアで聴くべきなのか！？

聖飢魔IIの最新大教典の形態のひとつにカセット・テープが採用されたように、現在はアナログ～デジタルと、音楽を聴くためのメディアはさまざま。では、新旧のメタルならば、どのフォーマットで楽しむのがお薦めなのか？ <レコード／カセット・テープ／CD／デジタル配信> それぞれの特徴を改めて知っていくことで、今後のリスニング・ライフはもっと充実したものになるはず☆

* *

●ブラック・サバス

オリジナル・ドramaー、ビル・ワードが登場！ 幼少期に得た自衛術からドラムについて、サバス加入後の生活や脱退、そして再び手を取り合った日のことまで……長いキャリアのなかで身を持って体験してきた人生の教訓を教えてくれる。

* *

●フォジー

日米を股にかけ活躍するプロレス界のスーパースター、クリス・ジェリコ。彼のもうひとつの顔が、メタル・バンド、フォジーのフロントマンである。必殺技にハロウィンの作品名をつけるなど、昔からメタル愛溢れる彼が、ビッグ4からド派手な衣装、マレット・ヘアまで、リスナーからの質問と真っ向勝負！

* *

●Broken By The Scream

今、ライヴハウスで怒涛のエクストリーム・ソングを武器に暴れている4人組女性アイドル Broken By The Scream を知っているだろうか！？ デス・ヴォイスとクリーン・ヴォイスを織り交ぜた過激かつキラキラの楽曲を聴かせる彼女たちは、一体どのようなグループなのか？ 個人＆全員インタビューで、その素顔に迫る。

【株式会社リットーミュージック】<https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド＆レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー＆クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア＆コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 Rittor Base」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やエンタメ情報サイト『耳マン』、Tシャツのオンデマンド販売サイト『TOD』等のWebサービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittormusic.co.jp